ふじみ野市立さぎの森小学校だより

ぬくもり

令和５年１１月２７日発行
特別号
児童数３７７名

あいさつ・元気・学び合い

学校教育目標	心豊かな子（徳） 体をきたえる子（体） 学び合う子（知）	＜めざす学校像＞ 一人一人のよさが輝き、 保護者・地域と共にあるあったかな学校

埼玉県学力学習状況調査について

実施日：令和５年５月１１日

埼玉県学力学習状況調査は、小学校４年生から中学校３年生までの児童生徒を対象に実施されます。児童の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進することが目的で行われる埼玉県独自のものです。毎年の経年変化をみることで、児童一人一人の伸びの把握をすることができます。各自の個票は既に返却済みです。お子さんの伸びを見ていただくとともに、次年度へ向けて学習に向かう姿勢や生活態度についてご家庭と連携していきたいと考えています。

１　教科に関する調査　　平均正答率：埼玉県　さぎの森小

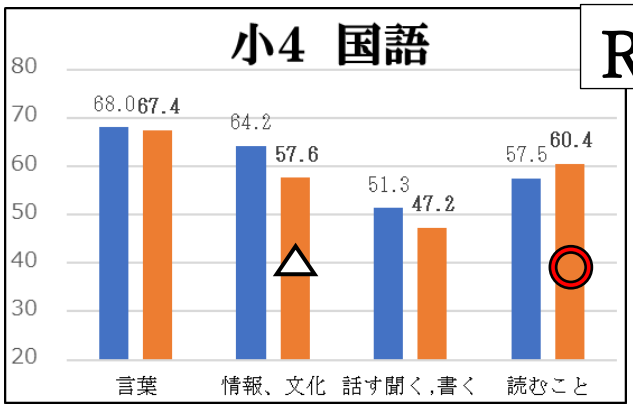
毎年の経年変化をみるために、昨年度と今年度の平均正答率を比較しました。問題内容や実施年度による各問題の正答率には違いがあるため、正答率だけの単純比較だけではなく、県の平均正答率との比較で分析しました。（県の平均正答率より５ポイント以上下回る場合は△、上回る場合は◎）

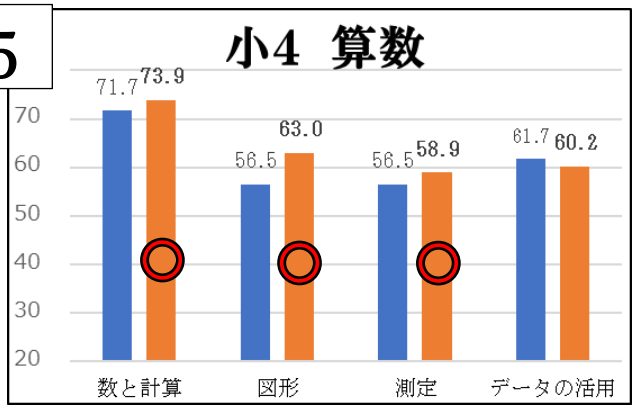
国語、算数の各領域の平均正答率を県と比較してみると、小４の国語の「読むこと」、小６の国語の「情報、文化」、小４・小６の算数の「数と計算」、小５の「データの活用」、そして算数の「図形」「測定/変化の関係」では全ての学年で県の平均を上回っていました。

課題としては、小４・小５の「情報、文化」、小５の「読むこと」が、県の平均より大きく（５ポイント以上）下回っており、また全学年で国語の「話す聞く、書く」の領域で県の平均を下回っていました。

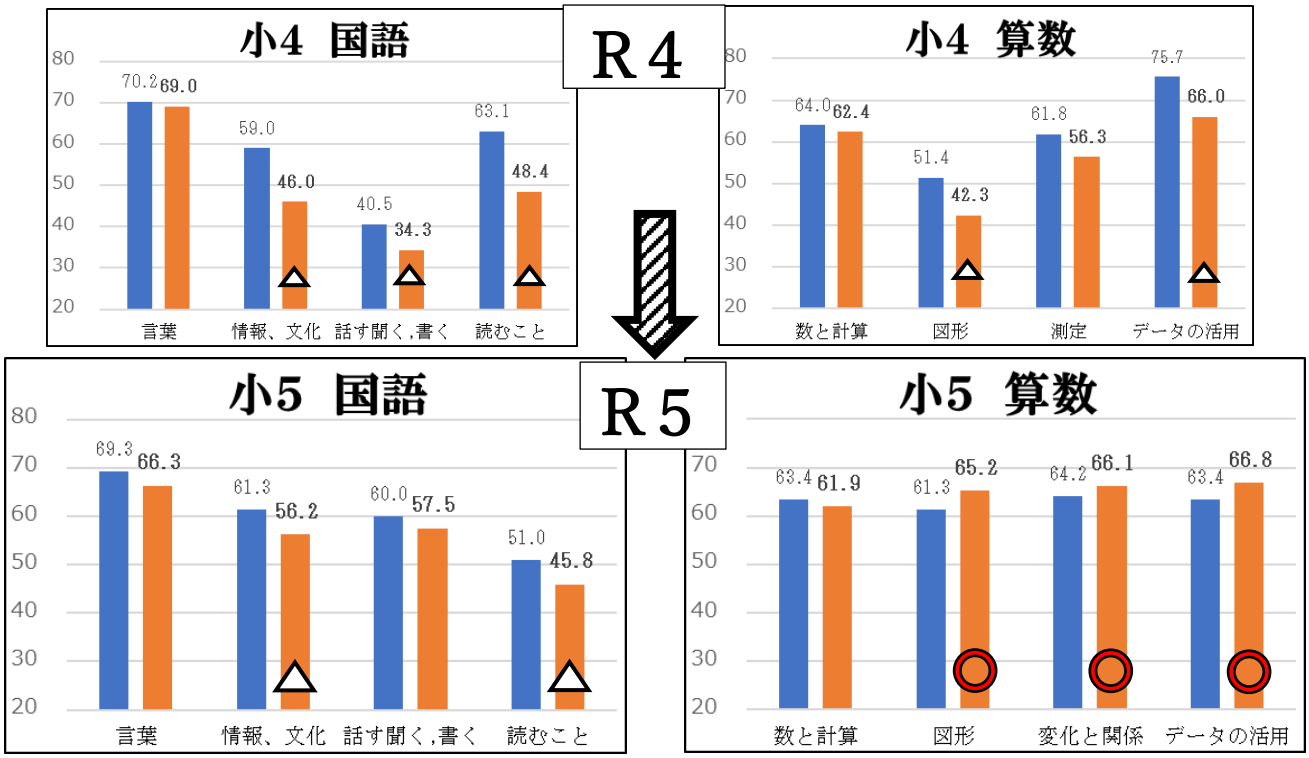
昨年度実施時と比べると、小５は国語の２領域で△があるものの、その差が狭まっています。算数では２領域で△だったものがなくなり、３領域で◎となりました。小６は国語と算数の３領域で下回っていたものがなくなり、４領域で◎となりました。今年度は県の平均より大きく下回った領域はありませんでした。

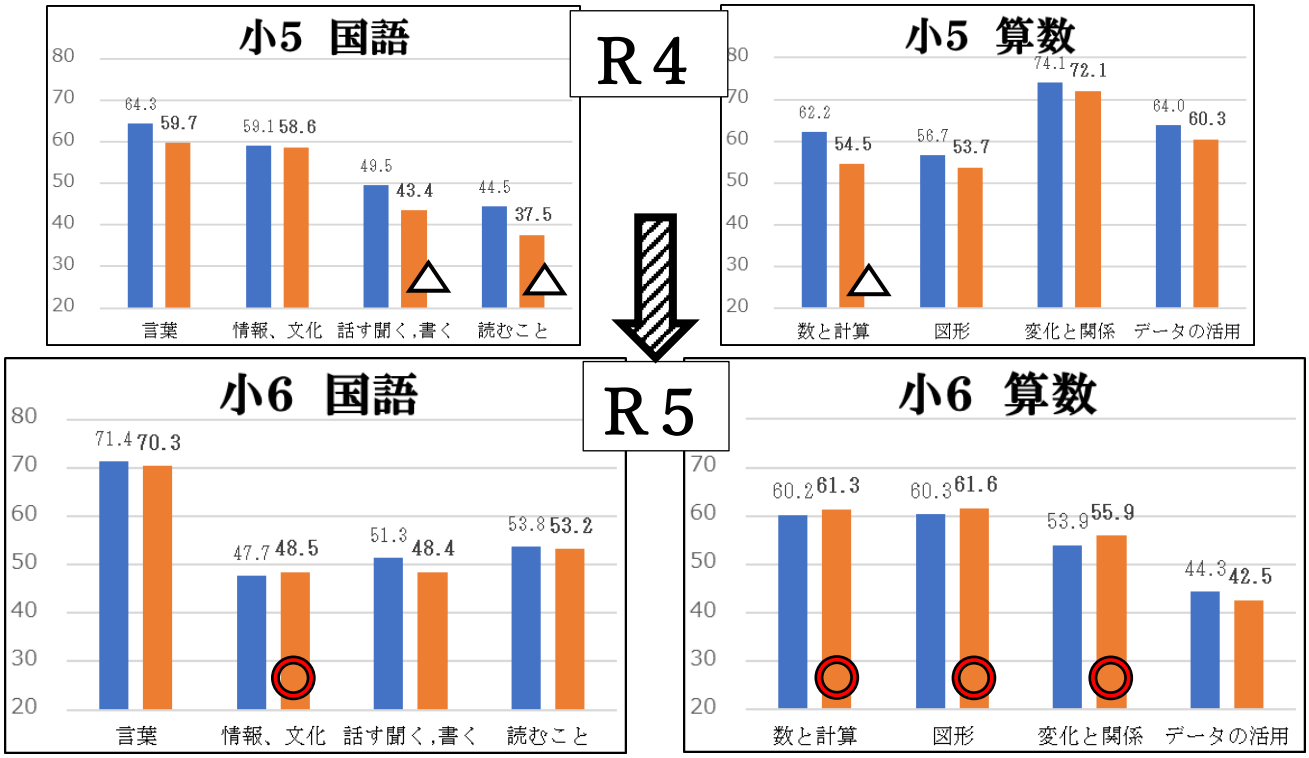
※小４からの実施のため、小４は今年度の結果のみです





昨年度は、国語を中心に全ての教科について、「話す聞く、書く」力を育てるための研究を学校全体で行いました。本年度は「言語活動の力を伸ばす指導方法の研究」を学校課題研究のテーマとし、教育活動全般で“自分の考えや思いをすすんで伝える児童”の育成を目指しています。全校取組の「目指せ、つたえ名人」では、月ごとに変わるテーマで“自分の考えや思い”を書き、代表選出された児童が給食時間に校内放送で発表するという活動を行っています。また、全学年で指導法などの研究も行っています。





来年度から県の学力学習状況調査がタブレット端末を使用した方式になります。タブレット端末を使うこと、学習のために活用して慣れることが必要です。学校では、個別の学習の振り返りとして、タブレット端でできる「**e ライブラリ**」を活用しています。タブレット端末をご家庭に持ち帰りましたら、ご家庭でも **e ライブラリ**を進めるよう、ご家庭でもお声掛けください。

また、埼玉県教育委員会のホームページより、平成２８年度実施分からの年度ごとの「復習シート」を閲覧・ダウンロードすることができます。学校でも復習として活用しています。ご家庭でも「学習した内容がしっかり身に付いているのか」の確認や、「一人一人の学力をさらに伸ばす」ことに利用できます。

「県学力・学習状況調査の「復習シート」について」（埼玉県教育委員会）
https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/images/fukusyuusi-to2.html